| (株)木村工務店の概要 | |
|--------------|----------------------|
| 社 名 | 株式会社 木村工務店 |
| 所在地 | 大阪市生野区小路東2丁目20番25号 |
| 創 業 | 昭和12年(1937年)8月 |
| 会社設立 | 昭和24年(1949年)4月1日 |
| 資本金 | 2 4,0 0 0,0 0 0 円 |
| 代表者 | 代表取締役社長 木村正一 |
| 役 員 | 専務取締役 木村貴一 |
| | 取締役 米田嵩 |
| 建設業許可 | 大阪府知事許可(搬-11)第14619号 |
| 許可の種類 | 建築工事業・大工工事業 |
| | タイル、れんが工事業・内装仕上工事業 |
| 建築士事務所 登録 | 株式会社木村工務店 1 級建築士事務所 |
| | 大阪府知事登録(卜)5348号 |
| 事業内容 | 各種建築工事の総合請負 |
| | 企画・設計・監理 |
| | 建築資材の販売施工 |
| 関連会社 | セルドム技建株式会社 |



| | (11) |
|----------|---|
| 昭和12年 8月 | 木村精一が現地にて建築請負業の個人営業を開始 |
| 昭和10年代 | 木造長屋建築・文化住宅を多数施工 |
| 昭和18年10月 | 戦時中により爆薬収納箱の軍需指定工場となる |
| 昭和20年 9月 | 終戦により建築請負業を再開 |
| 昭和24年 4月 | 個人営業を組織変更し株式会社木村工務店を設立 |
| | 資本金50万円、代表取締役に木村精一が就任 |
| 昭和20年代 | 大阪市の工事を受注し、 木造校舎・木造作業場・復興住宅を多数施工 |
| 昭和27年 8月 | 本社事務所及び工場を増改築し木工機器の増設を計る |
| 昭和30年代 | 大阪市の工事を主力にRCの学校建築等を多数施工 |
| 昭和33年 5月 | 専務取締役に木村正一が就任 |
| | 民間の鉄骨造・RC造の工場・マンション・住宅を施工 |
| 昭和38年11月 | ALCのシポレックス㈱指定責任施工店となり 軽量気泡コンクリート「シポレックス」の施工と販売を開始 |
| 昭和40年代 | 官公庁の工事から民間の工場建設及び 住宅・マンション・店舗を主力に施工 |
| 昭和44年 4月 | 資本金を600万円に増資 |
| 昭和44年12月 | 営業事業所の増築拡充工事完成 |
| 昭和50年代 | 民間工事100%で受注し、商業施設・住宅・工場を施工 |
| 昭和55年 9月 | 資本金を 1,2 0 0 万円に増資 |
| 昭和61年 2月 | 旭硝子関西建材㈱と特約店契約を締結 |
| 昭和61年 4月 | 建材部門を分離独立しセルドム技建株式会社を設立し 代表取締役に木村正一が就任、建築資材の販売施工に当たる |
| 昭和63年 1月 | 代表取締役社長に木村正一が取締役会長に木村精一が就任 |
| 平成 | 民間工事100%で、 住宅から工場・マンション・神社仏閣まで幅広く手掛ける |
| 平成 3年 5月 | 本社新社屋増改築工事完成、事務及び設計のOA化に着手する |
| 平成 5年 4月 | 専務取締役に木村貴一が就任 |
| 平成 6年10月 | 取締役会長 木村精一が死去 |
| 平成10年代 | 自然素材の可能性を追求した木造住宅を手がける 官公庁工事の受注を再開する |
| 平成10年 8月 | ホームページをオープンする |
| 平成10年12月 | I T化に着手しサイボウズを導入する |
| 平成12年 4月 | パソコンを一人一台体制とし サイボウズによる品質管理システムの構築に着手する |
| 平成12年 5月 | 資本金を2,400万円に増資 |
| | |

(株)木村工務店の沿革

地下鉄千日前線小路駅 3番出口を南へ徒歩3分 住所:大阪市生野区小路東2-20-25 電話:06-(6751)-4414

内環状線地下鉄小路の交差点 南東向き一方通行を直進

